

《 選挙管理委員会からのお知らせ 》

# 公益社団法人滋賀県看護協会役員・委員等の 立候補者の受付について

選挙管理委員長 奥畑 澄子

令和6年6月15日(土)ピアザ淡海 滋賀県立県民交流センターにて開催予定の滋賀県看護協会通常総会において、滋賀県看護協会役員および推薦委員ならびに令和7年度日本看護協会通常総会に出席する代議員および予備代議員の選出を行うことに伴い、下記の要領で立候補を受け付けます。

なお、役員等は本会の会員であり、本会の目的を理解し、組織強化、発展のために定められた会議に出席し、積極的に責務を遂行することが求められます。

## 1. 立候補の方法

立候補される方は、正会員5名以上の推薦を受けて、届出用紙に必要事項を記入の上、看護協会事務局へ提出してください。届出用紙は、事務局にあります。(ホームページからもダウンロードできます。「滋賀県看護協会」→「協会について」→「情報公開」→「組織・役員」→「役員・委員等の立候補の受付」)

## 2. 立候補者の受付期間

令和6年2月1日～令和6年2月14日必着

## 3. 立候補届の送付先

〒525-0032 草津市大路二丁目11番51号 公益社団法人滋賀県看護協会事務局 選挙管理委員会宛

## 4. 令和6年度選挙する役員および改選数

会長1名/副会長(保健師)1名/常務理事1名/保健師職能理事1名/看護師職能II理事1名/第1地区理事1名/第3地区理事1名/第5地区理事1名/第6地区理事1名/第7地区理事1名/准看護師理事1名/監事(看護職)1名/監事(看護職以外)1名/推薦委員7名/令和7年度日本看護協会総会代議員9名・予備代議員9名

## 図書室だより

こんにちは! 図書室司書です。今回は図書室に配架している看護雑誌(最新号)の一部をご案内いたします!

### 看護展望



コミュニケーションの停滞に悩んでいませんか? ナラティブを病棟全体で導入するときに重要となる理論的背景や、実際の実践内容などが紹介されています。

### リハビリナース



高次脳機能障害の基本的な症状の理解と対応、病棟で苦慮する症状への対応と実際、さらに管理者の立場から病棟運営に関して語ってくださっています。

### 訪問看護と介護



訪問時にどこまでのことをどうする方法で行うのか、他にすべきことがあるときに優先順位をどうつけるかなどについて、熱心な実践者の考え方とその実際を掲載。

開室日・開室時間 月曜日～金曜日 9:00～17:00 《土曜日・日曜日・祝日・年末年始は閉室》

利用方法はこちら→



## 投稿大募集!!

「表紙の写真」「会員の声(ご意見・ご感想)」に投稿をお待ちしています。とりあげて欲しい内容でもけっこうです。広報委員が取材に行きます。ふるってご応募ください。詳しくはホームページ「委員会からのお知らせ」をクリック! ▶次回発刊は4月5日予定です

広報紙「ナースレーク」

# Nurse Lake

Vol.161

2024年1月



ファーストレベル閉講式



災害支援ナース



保健師職能シンポジウム



高島市朽木小入谷(彦根市K.Kさん)

## CONTENTS

新年のごあいさつ……………2  
 令和5年秋の叙勲/Voice/こんにちは事務局です…3  
 《一番星見つけた!》  
 災害看護推進委員会の取り組み……………4~5  
 看護師I職能委員会/看護師職能II委員会……………6

保健師確保シンポジウム……………7  
 看護管理者の魅力ややりがいとは……………8  
 訪問看護支援センターだより……………9  
 滋賀県ナースセンターだより/はたさぼ通信…10~11  
 選挙管理委員会からのお知らせ/図書室だより…12



発行所 ●公益社団法人 滋賀県看護協会  
 発行責任者 ●会長 草野とし子  
 〒525-0032 滋賀県草津市大路二丁目11番51号  
 TEL.077-564-6468 FAX.077-562-8998  
<https://shiga-kango.jp/>

モバイルサイト



滋賀県看護協会

検索

三方よし精神で 看護の力で  
**滋賀を元気に!**  
 一住み慣れた地域で健康に暮らせるために

滋賀県看護協会会員数(令和5年12月3日現在)

保健師/ 326人	助産師/ 322人	合計 9,163人
看護師/ 8,368人	准看護師/ 147人	

新春に寄せて

# 人生100年時代に活躍する看護職

～まなびを実践に活かし、実践からまなぶ～

滋賀県看護協会 会長 草野 とし子



新年あけましておめでとうございます。

皆さまには健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、滋賀県看護協会事業の運営に、ご理解とご支援を賜り深く感謝申し上げます。

## 人生100年時代 看護職として長く活躍する出発の年に

人生100年時代と言われる中、看護職の活躍する期間も長くなっています。また、少子超高齢化が進む中で、今後医療・介護ニーズの高まる85歳以上人口の割合の増加と生産年齢人口の急減という状況に直面すると言われており、看護職への期待は大きく、看護の役割発揮が求められています。

この期待に沿っていくことができるよう、日本看護協会では、昨年6月に「看護職の生涯学習ガイドライン」を示すとともに、「学びのサポートブック」を発行しました。

看護職として長く活躍できるようその学びを支援するものです。様々な岐路に立っても、自分らしい看護の道を歩み続けていただけるよう、皆さまを支援しています。

サポートブックには、「看護のキャリアをスタートした時も、活躍しているときも、看護の現場から離れているときも、再就業を検討するときも、今後の働き方を考える時も、どんなライフステージにいる「あなた」にとっても大切な「学び」をサポートする一冊です」と記されています。

皆さまの人生のあらゆる場面で活用できますので、迷ったときには日本看護協会のホームページに掲載されている「学びのサポートブック」を活用していただければと思います。

当協会でも、皆さまの学びを



支援できるよう学習支援の充実に努めていきますので、皆さまも、看護を学び、学びを実践に活かして「自分らしい看護の道」を歩み続けていただきたいと思います。

## 看護の魅力を多くの皆さまに発信

令和5年度は、「看護職の魅力発信」の芽が看護職確保につながるよう「看護職魅力発信の飛躍の年」としたいと考えて取り組んできました。

看護職を身近に感じていただけるように看護協会のマスコットキャラクター「かんごちゃん」もデビューしました。

看護職の魅力発信の取り組みは、単年で終わるものではなく、引き続き取り組みを進めていきます。

看護職の生き生きとした活躍を県民の皆様を示し、多くの若者や子どもたちが「看護職になりたい!」と目指してくれる機運を高めたいと考えていますので、皆さま 現場からのご協力をよろしくお願いいたします。

## 看護の力で滋賀を元気に

令和6年の干支は、「辰年」です。辰年をインターネットで調べると「2024年は十干では甲、十二支では辰にあたるため、甲辰(きのえたつ)の年となり、新しいことを始めて成功する、いままで準備してきたことが形になるといった、縁起のよい年になると考えられる。」とのこと。

残念な出来事も多い社会情勢ですが、コロナ禍で培って蓄えてきた看護実践力を発揮して“新たな看護”を創造していくことにより、滋賀県看護協会の合言葉である「三方よし精神で看護の力で滋賀を元気に!」を実践していきたいと思ひます。

これまでも、皆さまには協会活動にご参加いただき、多くのご支援ご協力をいただきましたが、今年も変わらず更なるご支援ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

## 令和6年能登半島地震について

新年1月1日午後4時10分に能登半島にて地震が発生し、甚大が被害が出ております。被災された皆様、ならびにそのご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げますとともに、皆様の安全と被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

滋賀県からDMAT等の派遣がされています。滋賀県看護協会でも、1月6日から災害支援ナースの派遣を開始しました。被災された皆様の生活が1日も早く平穩に復することを祈りつつ、支援を行いたいと考えております。



令和5年 秋の叙勲

永年のご活躍に敬意を表し、心よりお祝い申し上げます

瑞宝単光章 堀池 公子さん  
元 市立大津市民病院 看護局長



# Voice

## これからの看護職に期待すること

湖南広域消防局 消防局長 堀田 武司氏

災害の最前線で活動する我々消防機関にとって、とりわけ救急隊は医療機関との連携が大変重要となります。

これまでも、当消防局は、医療機関との情報共有、医療チームとの連携活動、医療関係者を対象とした合同研修会への参加等、幅広い分野において連携とコミュニケーションを図ってきました。これらは医療の最前線で活動し、命を守る職業として、また、エッセンシャルワーカーとしての質を担保するために大変重要であると認識しております。



そのような中、様々な分野、職業において人材育成が大きな課題として認識されており、消防機関にあっても例外ではありません。同じ医療現場で働く者同士、それぞれが職員教育の手法を検討し、実践していくことで互いの組織がレベルアップし、命を守ることに繋がっていくと考えます。医療現場の最前線に立つ者同士が連携を図り、『明日も あたりまえの安心と安全を』提供するため、これからもお互い顔の見える関係のなか、謙虚な姿勢で研鑽に励みましょう。



## こんにちは事務局です

### 理事会報告(第4回理事会)

2023.11.18(土)

#### I あいさつ

#### II 決議事項

1. 公益社団法人滋賀県看護協会 職員等旅費支給規程の改正(案)について
2. 電子取引データの改正および削除防止に関する事務処理規程の制定について

#### III 協議事項

1. 令和6年度 重点事業の方向性について

#### IV 報告事項

1. 令和5年度 重点事業 及び 定款第4条に基づく事業中間報告

2. 令和5年度 中間財務報告 及び 中間監査報告
3. 認定看護管理者教育課程運営要綱の改正について
4. 公益社団法人滋賀県看護協会寄附金規程の修正について
5. 業務執行理事活動報告 職能委員長会議について

#### V その他

1. 理事会・委員会合同委員会【1月20日】について
2. かいつぶりのわについて
3. 部落解放研究 第31回滋賀研修会 について

# 災害看護推進委員会の取り組み

災害看護推進委員会では、災害看護に関する研修運営や災害支援ナースに関する取り組みを行っています。

## 1 災害看護に関する研修について

今年度の災害看護に関する研修は、2回開催しました。

一般看護職対象の研修として「災害時の看護を考える」を開催し、災害への備えについての講義や患者への備え教育についてグループワークを行いました。管理職対象の研修としては「みんなで考えよう災害 その時、あなたは指揮できますか」を開催いたしました。

また、例年は災害支援ナース育成研修 基礎編・実務編を開催していますが、2024年度より新たな災害支援ナースの制度に変更となるため、今年度は新たな災害支援ナースの制度に準じた研修を12月に開催いたしました。

従来の災害支援ナースに登録されておられる方も新しい制度での研修を受講する必要があるため、来年度の研修には奮ってご参加ください。

## 2 災害支援ナースについて

新たな災害支援ナースは、2024年4月施行予定の改正医療法・感染症法に基づき、災害・感染症医療業務従事者として登録され、派遣されることとなります。災害・感染症医療業務従事者とは、災害支援ナースだけではなくDMATやDPAT等が含まれています。従来の災害支援ナースは自然災害時のみの派遣でしたが、今後は自然災害のみならず、新興感染症発生や蔓延時にも派遣されることとなります。

災害支援ナースの養成・登録業務は日本看護協会と滋賀県看護協会が担っていましたが、国（都道府県）に変更となります。また、派遣形態は休暇扱いや出張扱いなど所属施設によって異なりましたが、都道府県と医療機関間の協定に基づく業務と位置付けられます。そのため、派遣に係る費用が公的に負担されます。所属する施設のない災害支援ナースについては、都道府県



災害支援ナースの展示風景



他ブースの展示風景

が災害支援ナースを直接雇用または都道府県看護協会が災害支援ナースを雇用した上で都道府県と都道府県看護協会が協定を締結して派遣を行うことが可能であり、現在体制が検討されています。

新たな災害支援ナースとして登録するには、オンデマンド講義（総論120分・災害各論540分・感染症各論540分）を受講し、集合研修（講義60分・災害演習270分・感染症演習270分）を受講する必要があります。オンデマンド講義の災害各論と感染症各論の受講は一定の条件を満たす場合は免除となるため、申込時にご確認ください。

新たな災害支援ナースとして登録後は、5年毎に更新研修の受講が必要となる予定です。

## 3 滋賀県総合防災訓練について

10月15日に大津市で開催された滋賀県総合防災訓練に、草野会長・西井専務理事とともに災害看護推進委員7名で参加しました。

メイン会場は大津市生涯学習センターでしたが、サブ会場も含めると7か所で住民訓練と実動訓練が行われました。私たちは大津港会場の展示・PRブースに参加し、災害支援ナースの活動風景の写真や災害支援ナースの携行品を展示しました。看護職や看護学生、一般市民の来場があり、

災害支援ナースについて興味を持っていただける機会となりました。また、災害看護の講義を担当していただいている藍野大学医療保健学部看護学科の西上教授が作成された「私の安心カード」を来場者にお渡ししました。災害時のために各種連絡先が記入でき、備蓄品リストが載っていますので、防災グッズを準備する際に役立てていただきたいと思います。

他施設の展示ブースでは、防災グッズの展示や防災実験の体験をすることができました。例えば、滋賀県栄養士会の展示ブースでは、滋賀県栄養士会災害支援チームの活動紹介や災害時に役立つ非常食の展示、経口補水液の試飲会をされていました。

また、大津港会場では展示・PRブース以外に、船舶事故を想定した消防・警察・防災ヘリの救助活動訓練や滋賀県内の消防団が中継送水及び放水訓練を実施されていました。多くの消防車や救急車、防災ヘリが登場すると、大人も子どもも熱い視線を送っていました。

滋賀県総合防災訓練は県内各地で毎年実施されており、災害時に活躍する災害支援ナースについて一般市民へPRできる良い機会となっています。また、滋賀県は比較的災害が少ないため、防災意識が高められるような取り組みを今後も企画していきたいと思っています。

## 看護師Ⅰ職能委員会

委員長 小寺 利美

看護師Ⅰ職能委員会は、担当理事である松並副会長と委員8名で6月より活動しております。委員会活動の目的は、『病院現場における看護職活動の課題検討と解決に向けて取組む』ことです。

### 《今年度の活動目標》

#### ①病院看護職員の働き方改革の推進

働き方改革に向け、令和3年11月に実態調査がなされ、「院内に他職種間のタスク・シフト/シェアを検討する委員会がある病院」は25%でした。前回の調査から約2年が経過しており、今後、さらに少子化の中、限られた人材で効果的に働く



ため他職種連携やタスク・シフト/シェアについて各施設の取り組み状況の調査から始めます。

#### ②看護補助者活用研修を通して看護管理者を支援

看護補助者活用推進のための看護管理者研修を7月27日に実施し、95名と多くの方々に参加いただきました。研修内容はわかりやすく、グループワークでは課題解決に向け活発に情報交換がなされ、今後自施設での対策にいかしたいとの感想が多く寄せられました。次年度も引き続きこの研修を開催予定ですが、参加対象者の役職が主任・副看護師長が多くなってきている状況から、グループワークを臨床実践者の中でも看護補助者活用について考えられる充実した研修内容を検討しています。

#### ③県内における生涯学習支援の状況把握

看護職として“働き続ける”ために“必要な学び”を考える生涯学習支援に取り組んでいきます。まず、各施設で活用されているクリニカルラダーについて作成の経緯や評価などの現状調査から始めます。そして、各施設が生涯学習支援について考え取り組む機会につなげたいと思っています。

## 看護師職能Ⅱ委員会

委員長 平井 里津子

看護師職能Ⅱは病院以外の介護・福祉施設・訪問看護・診療所等で働く看護職を支援しています。

世の中を悩ませているコロナ感染症や、いつ起こるかわからない自然災害が発生した場合であっても、介護サービスが安定的・継続的に提供される事が重要であります。診療報酬改定においてBCP策定が義務付けられ、いよいよその策定期日が目前に迫っています。

看護職能Ⅱでは国の方針が出ると同時に策定支援としての研修会をシリーズ化して行なってきました。まず、「BCP」とは何か、BCPの必要性について認識の向上をはかるべく、先駆けて策定されている事業所の管理者へ研修を依頼し、経験値を共有して自施設での策定に役立てられるようにしました。BCPは管理者だけが分かっているだけでも稼働しません。組織内の体制整備から始めなければならない等の課題も多く、取り組みがなかなか進まない現状がありました。実際に作成したBCPでシミュレーションを行ない、評価・改善ができていない施設から、周知や認識レベルでつまづいている施設と進捗状況は様々でした。今一度BCP研修をとの声が多かったため、今年度は実践報告会(施設・訪問看護ステーション)という形で開催しました。多くの参加者があり、関心の高さを物語っていたと思います。「問題解決の参考になった」「自施設にもどって今一度

やり直してみます」という声も聞かれました。

また、日本看護協会が実施した地区別の情報収集会でも、同様に取り組みが進まない状況を問題視されていました。BCP作成に関する課題や好事例の紹介、地域の関係機関等との連携強化に向けた平時からの取り組みについて、具体的レベルで示した情報提供も行われていましたので、今回の研修でBCP作成の参考資料として紹介させていただきました。

平時にできない事を有事に行なう事は難しく、平時からの住民・行政・地域の医療・介護・福祉をはじめとする各種資源との連携と協働により、災害弱者を想定し、守っていくことが、わたしたち看護職能Ⅱの看護職に課せられた役割だと思っています。



シンポジウムの様子

# 保健師確保シンポジウム

## ～保健師確保の取り組みと教育現場の現状～

「保健師を採用したくても応募者がいない」「採用してもすぐに退職してしまい欠員が補充できない」といった現場の声を踏まえ、令和4年度、保健師職能委員会では県内自治体に保健師確保の取組についてアンケート調査を行いました。また、全国保健師長会では、令和4年度地域保健総合推進事業として、新規採用保健師の人材育成に関する調査研究事業を実施されたことから、滋賀県看護協会と全国保健師長会滋賀県支部の共催としてシンポジウムを開催しました。

開催日時は、令和5年10月24日(火)、場所は滋賀県看護協会看護研修センター、参加者は会場9人、WEB5人、合計14名でした。

守山市小川氏からは、調査結果から、ひとり一人のキャリア



守山市小川氏講演



座長 橋爪氏



会長挨拶

レベルに応じた丁寧、適切な指導・助言が必要なこと、小規模自治体では、圏域の保健所や都道府県のサポートが不可欠であること、体系的な人材育成の構築に向けて、キャリアに応じた研修体制や各自治体の状況に適した研修体制等が重要だと報告がありました。また、小規模自治体だからこその強み(丁寧な指導や幅広い活動を経験できる)についても示されたことがわかりました。

シンポジウムでは、滋賀県立大学人間看護学部 小林先生より、学生の現状や職業選択に関する視点などの報告があり、滋賀県庁宇野氏と高島市中村氏からは、それぞれの自治体で保健師確保や離職防止のための取組について報告してもらいました。参加者からは、他自治体の取組がわかって参考になった。自分のところでも持ち帰って話し合いたいとの意見が聞かれました。



シンポジスト

### プログラム

1. 会長あいさつ
2. 令和4年度保健師確保における自治体アンケート結果報告  
保健師職能委員 協委員
3. 令和4年度地域保健総合推進事業報告  
「自治体における新規採用保健師の人材育成にかかる実態および体系的な研修体制の構築にかかる調査研究事業」  
守山市役所 健康福祉部 部長 小川靖子氏
4. シンポジウム「保健師確保のための学びを深めよう」  
(座長) 全国保健師長会 滋賀県支部 支部長 橋爪聖子氏  
①教育現場の現状について/滋賀県立大学 人間看護学部 小林孝子氏  
②保健師確保のための取組/滋賀県庁 健康寿命推進課 宇野千賀子氏  
③保健師確保のための取組/高島市 健康推進課 中村美幸氏
5. グループワーク
6. 全体討論
7. 講評・閉会挨拶

# 看護管理者の魅力ややりがいとは

医療法人幸生会 琵琶湖中央リハビリテーション病院 看護部長 赤尾 順子

「魅力」「やりがい」を考えるにあたり、私の管理に対する思いや経験を振り返ってみようと思いました。

看護部長に就任してから4年が経過しました。部長職年数と現職場で勤務した年数はイコールです。本当にあっという間の日々でした。

私が看護管理者として心掛け、そして目指していることのひとつが「成功体験を感じてもらおう看護管理」です。私は認定看護管理者研修ファーストレベル・セカンドレベル・サードレベルを受講し、様々な講義から経営や看護管理についてたくさんの学びと示唆を得ることができました。

当時病棟師長として勤務をしており、いざ現場で「実行するぞ」と勢いこんでも、何をどう行動していけばいいのか迷う日々でした。そんな中、管理者研修で管理計画を立案した内容を実践するチャンスを看護部長から与えられ、学んだことを実現する経験ができました。実践していく中で計画から外れることも多々ありましたが、前に進ん

でいくときのワクワク感とやりがいは忘れられません。その成功体験が私の看護管理者としての基礎となりました。

管理者として勤務する中で、大小問わず毎日解決すべき問題があります。

先日、師長から「患者さんの持ち物に名前を書くことは倫理的にどう考えられますか?」「私の親が入院するとき全部に名前を書くのは嫌です」という話がありました。持ち物に名前を書くことが院内で習慣化しており、疑問を感じず過ごしていました。この、日々の師長の気づきを共に考え、よりよく変化していくプロセスが日々の管理における成功体験に繋がると考えています。管理者の日々の実践が現場にも患者さんにも影響していきます。

ワクワク感を持ちながら管理実践を行い、成功体験を増やしていくことは看護管理をしていく上での魅力です。ぜひ、管理者を目指してこのワクワク感を体験してほしいと願います。

## 認定看護管理者教育課程ファーストレベル修了者

一般社団法人水口病院 看護師長 松坂 肇

私は精神科病院に勤めており看護師長になって2年となります。管理者として日々、手探りで看護の質の向上を目指し部下の指導を行っています。

しかし、思ったように結果が出ず、悩む時には先輩の師長に相談することを当たり前としていました。そんな時ファーストレベルを受講する機会をいただきました。

講義の中では初めて見聞きする看護管理に関する知識や技術、考え方を学ぶことができ看護管理者としての第一歩を踏み出すことができたように感

じました。また、グループワーク・レポートに取り組む機会が多く苦労することもありましたが、「自施設の課題をどうにかしたい!」という志ある仲間を支えられ乗り越えることができ、このファーストレベルと一緒に学んだ仲間との繋がりが一番の財産となりました。

まだまだ、学んだことを体現するには時間を要するかもしれませんが、自施設に還元できるよう自己研鑽を積み重ねていきたいと思えます。



## 訪問看護支援センターだより



滋賀県版 訪問看護ステーションのための新任訪問看護師育成支援マニュアル

# はじめてみよう訪問看護

訪問看護ステーションで勤務する看護職は、入職時において病院や施設などの看護経験は豊富ですが、「在宅看護」は未経験である方（新任訪問看護師）が大半を占めています。そのため、看護を提供する場が“病院や施設等”から“患者の自宅”に変わることによって生じる多くの違いに、戸惑い・不安を感じる声は少なくありません。

また、新任訪問看護師の育成支援や指導については、各々の管理者の裁量で行っている状況でした。そこで滋賀県訪

問看護ステーション連絡協議会と協働し、すべての訪問看護ステーションで活用できる訪問看護に必要な基礎知識をまとめた「滋賀県版 新任訪問看護師育成支援マニュアル はじめてみよう訪問看護」を2023年4月に発行しました。

1人でも多くの新任訪問看護師の方に「訪問看護 だいすき」、1人でも多くの利用者から「訪問看護を利用してよかった」と言ってもらえる訪問看護師になってほしいという思いを込め作成しています。

**管理者の方からのお声…**

- 本主に基本的なところから書かれていて、新任さんのみならず私達も改めて振り返る機会となっています。
- 新任の方は利用者宅に入るところから戸惑う。写真付きで1日の流れが記してあり、わかりやすい。

### 新任訪問看護師育成マニュアル作成委員会から…

訪問看護は工夫の連続。病院と違い必要な物品も揃っていないかもしれないけど、こんなもの、あんなものでも代用できると楽しさもいっぱい。基本、ひとりで訪問。不安なことたくさん出てくるかもしれませんが、相談できる人、サポートしてくれる人はたくさんいます。

大丈夫、だいじょうぶ。

※マニュアルは「滋賀県看護協会 訪問看護支援センターホームページ」よりダウンロードできます。また数に限りはございますが、必要な方はご連絡ください。

こちらからも▶



小児・障害児の訪問看護の充実のためのシンポジウムを開催します

## 地域で暮らす医療的ケア児の豊かな保育・教育を支えるために

～ 学校看護師の役割・困り事・やりがいを知り、専門職同士の連携を強化しよう ～

●日時：令和6年2月17日(土) 13:30～16:00 ●会場：滋賀県看護協会 研修センター

医療的ケア児を支えるそれぞれの立場の専門職の役割を知り、医療的ケア児とその家族の豊かな暮らしにつながるよう連携を強化することを目的にシンポジウムを開催します。※本年度は学校看護師にスポットをあてています

基調講演

### 医療的ケア児を支える学校で働く看護師を知ろう! [講師] 植田 陽子 氏

講師の植田氏は、豊中市教育委員会を退職後、学校で働く看護師が情報交換できるコミュニティ「つながるかい」をweb上で設立、その他、文部科学省の「学校における医療的ケアの実施に関する検討会議」委員や「学校における医療的ケア児・学校看護師」をテーマに、研修・セミナー講師など多数実施されています

シンポジウム

### 保育所・学校で学ぶ医療的ケア児とその家族を支えるために、私が考えること ～それぞれの立場から、思いや実践を発表～

座長：訪問看護ステーションちよこれと。看護師 多久島 尚美 氏  
シンポジスト：市町小学校看護師 岡田 直子 氏 / 特別支援学校看護師 皆木 留美 氏  
滋賀県重症心身障害児者・医療的ケア児等支援センターこあゆ コーディネーター看護師 村井 真理子 氏

**【対象】** 滋賀県内の母子保健領域で活躍する看護職・研修テーマや内容に興味関心がある看護職等 **《会員・非会員は問いません》**

**【定員】** 先着80名 (定員になり次第締め切ります)

**【受講料】** 無料

**【申込み】** 滋賀県看護協会ホームページ「研修申込サイト」にて、登録、申込みしてください

**【申込期間】** 令和6年1月9日(火)～令和6年1月31日(水)

## 2023年地域に必要な看護職確保推進事業 甲賀

日本看護協会では地域・領域別偏在の是正のため、2017年度より地域に必要な看護職確保推進事業を実施する県を募集し、2022年度までに17都道府県看護協会が取り組んできました。今年度滋賀県看護協会は事業へ応募し、契約を締結しました。滋賀県では地域偏在の看護職確保に取り組むこととし、対象地区は地域分析を行った結果、甲賀地域と決定し「甲賀圏域看護職確保検討ワーキンググループ」のメンバーとともに、いくつかの具体的な取り組みを行いました。

### タウン de ツナガルフェス

11月26日(日)開催しました

イオンタウン湖南で初めて行われたイベントで看護の魅力伝えるため、「白衣体験」「看護体験」「血管年齢・骨密度測定」などを、甲賀圏域の病院、訪問看護ステーション、介護施設、行政の方々の協力を得て無事に終了しました。

参加者は延べ197名であり、幼児から高齢者まで多くの方に来場していただきました。イベントを通して参加者の笑顔が見られて、私たちもパワーをいただけた一日でした。

### 甲賀・湖南でみつける看護・介護のおしごと

12月17日(日)開催しました

甲賀市役所にて、17事業所が参加され16ブースに分かれて就職説明会を行いました。看護職6名、補助者2名の求職者があり、複数のブースで丁寧な説明を受け、アンケートでも満足度が高い結果となりました。

8名の求職者のうち3名が、施設見学と面接を予定されており、この中で一人でも多くの人の、就業が決定することを私たちも願っています。



- 1月23日(火)…… 就職フェア [会場:キラリエ草津]
- 2月15日(木)…… ワーク・ライフ・バランス推進研修会
- 3月6日(水)…… サポートナース有事協力者研修



### 受講生の声 Vol.18

#### 初めの一步が大きな一步

臨床を離れて10年以上経過しているため、臨床現場はかなり変化していることや看護技術にも不安があることなど心配は尽きませんでした。子育てが一段落したことをきっかけに、もう一度看護師として再就職を考え、リスタートナースサポート研修を知り受講しました。

研修中は現役看護師から最新の情報を踏まえた講義を受け、同じ気持ちを持つ受講生と交流し充実した研修期間を過ごせました。講師の方々に知識・技術や実際の症例を提示していただき、看護師としての



### リスタートナースサポート研修

K.Tさん



やりがいや魅力、看護の力でできることに改めて気づきました。過去の自分の看護を振り返る時間にもなり、どのような看護師像をもって働いていけばよいかを考えるきっかけにもなりました。

病院実習では、看護外来を見学し、専門性を発揮して多職種と連携されている姿に、看護の魅力を実感することができました。外来看護師長から「私もリスタートナース出身なのよ」と聞き、働いていく勇気をいただきました。

今はおかげさまで就職して働き始めましたが、リスタートナースサポート研修を受講することが初めの一步で、それが歩みだせる大きな一步だったと実感しています。ありがとうございました。

### SHIGA! はたさぽ通信

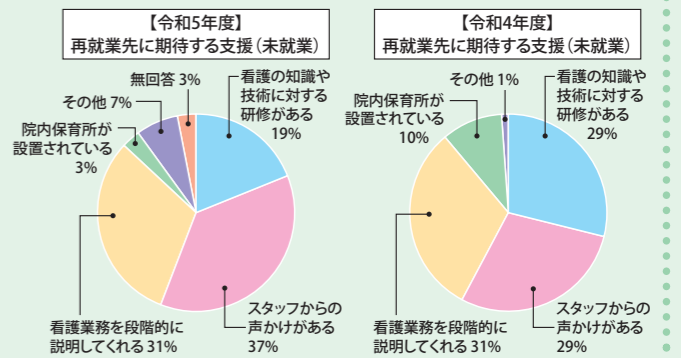
就業コーディネーター | 寺村 幸子

#### 令和5年度再就職についての意向調査結果報告 (一部抜粋)

意向調査は、潜在看護職員や登録者の再就業における意向状況を把握するとともに、復職サポートの内容を明確にし就業支援につなげることを目的とし調査を実施しています。調査内容から未就業の方々が、再就職の条件に何を考えておられるかを一部抜粋してお知らせします。

調査発送数373件/回収数90件(回収率24%)就業状況は未就業47件、就業中45件。回答者の意向として、「再就職を考えている」が48%(令和4年度60%)で、昨年に比べると働きたいと思っている人が大幅に減少していた。未就業の人が再就職に希望する時期として「一定時期後に働きたい」42%、「すぐに働きたい」16%、「すでに就職先が決まっている」23%であった。また、働く希望条件は、「勤務形態」「勤務時間」「通勤時間」「給与」の順に多く、昨年と傾向は変わらなかった。勤務形態としては、「常勤」が47%「非常勤」が56%で昨年と比べると「非常勤」希望が増加傾向であった。また、通勤時間の希望は「30分以内」が35%「30分~60分以内」55%で、給与は「時給で1500円以上」を希望する人が61%を占めた。再就業に期待する支援としては「スタッフからの声かけがある」37%(令和4年度29%)、「看護業務を段階的に説明してくれる」31%(令和4年度31%)、「看護の知識や技術に関する研修がある」19%(令和4年度29%)の順に多く、昨年度に比べると「スタッフからの声かけがある」が増加していた。

これらの結果を踏まえ、看護の職場における多様な働き方について、求人施設の皆さまのご協力をいただきながら求職者の方が求める条件とのすり合わせを十分にを行い、ひとりでも多くの方が就業できるように支援していきたいと考えています。



お問合せ先  
 ● 滋賀県ナースセンター TEL.077-564-9494 / FAX.077-562-8998  
 フリーダイヤル ☎0120-22-9494 (祝祭日除く月~金 9:00~17:00)  
 ● 彦根サテライト TEL.0749-30-1235 / FAX.0749-30-1233  
 ● E-mail: shiga@nurse-center.net

詳細は  
ホームページを  
ご覧ください

